

学校名（ 三重県立稲生高等学校 ）
平成30年度 学校マネジメントシート

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		知・徳・体の調和がとれた『社会に役立つ人材』を育成する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○自分自身を見つめ直し、夢に向かって、何事にも精一杯挑戦する意欲的な生徒。 ○基本的な生活習慣を身につけ、社会のルールやマナーを守り、命の大切さや他人を思いやる心をしっかりと持っている生徒。 ○部活動や生徒会活動、学校行事などに積極的に参加し、コミュニケーション能力を高めることができる生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像の実現のために、一人ひとりの生徒の適性、能力に応じた学習指導や生徒指導にカウンセリングマインドに基づき、粘り強く指導できる教職員。 ○風通しの良い学校風土と、教職員相互の対話により、学校や生徒の課題を共有し、一致団結して課題解決を図ることができる教職員。 ○自らの教育力の向上のために、ベンチマーキングや研修会等に参加し、教育活動により意欲的に取り組むことができる教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒> 安心で快適な学習環境の中で、基礎学力の定着と希望進路の実現。 学校行事や部活動の充実。</p> <p><保護者> わかりやすい授業による学力の向上と希望進路の実現。自己教育力と規範意識の醸成。部活動の活性化。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<p><保護者> 生徒や学校の適切な情報提供。</p> <p><中学校> 卒業生や学校の情報提供。</p> <p><地域住民> 開かれた学校。地域活動への参加と協力。 地域に貢献できる人材の育成。</p>		<p><保護者> 本校教育活動への理解と参画。親と子のコミュニケーション。</p> <p><中学校> 効果的な指導のための情報共有と緊密な連携。</p> <p><地域住民> 本校教育活動への理解と協力（清掃活動、部活動）。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力向上、学習習慣の定着のための、新たな具体的な数値目標を設定してみてはどうか。 ・インターンシップに関して、企業や事業所の評価や満足度を指標にすることで、より改善課題が明確になるのではないか。 ・防災訓練などの地域活動に生徒が参加できるシステムが作れないか。 ・総勤務時間の縮減の意図は理解できるが、部活動の時間を削減することで学校の魅力化や活性化にマイナスにならないように取り組んでほしい。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に自信や目的意識が持てない生徒も見受けられることから、一人ひとりの自己肯定感を育み、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図るような授業改善等を行うことが必要である。 ・基本的な生活習慣や規範意識の醸成を図り、相手の気持ちを推し量る心や態度を育成するとともに、すべての人権に対する感覚を高める必要がある。 	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭環境や特性、能力に応じた、学習指導や生徒指導をよりきめ細やかに行うために、組織体制や教職員の指導力向上に計画的、継続的に取り組む必要がある。 ・学校の現状や生徒の近況を、絶えず保護者や地域に情報発信することで、情報共有を図り、理解・協力・支援を受けるよう取り組む必要がある。 	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの学科・コースに応じた学習内容を充実させることで、より意欲的に生徒自らが学ぶ姿勢が身に付くようにする。 ・ 将来を見据えたキャリア教育をはじめとした進路指導の充実により、自己有用感や自己肯定感が高まり、希望進路の実現と定着を図る。 ・ 正しい倫理観や道徳観を身につけ、他者を思いやり、人権を尊重する意欲や態度、命を大切に する実行力を育成する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの生徒の能力・適性に応じた授業内容の工夫や公開授業や授業研究を行う等の授業改善を進める。 ・ 学校の魅力をPRするための広報活動を工夫改善する。 ・ 教職員のやりがい感、満足度を高めるために、会議の効率化を図るとともに、総勤務時間の縮減等に取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>学ぶことの興味関心が高まる取組</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学年 基礎学カトレーニングの実施年間 1 8 回以上 ・ 2 学年 基礎学カトレーニングの実施年間 1 5 回以上 ・ 3 学年 長期休暇中の課外の充実 ・ 普通科 年 2 回類型満足度調査を実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の定着 ・ 普通科類型満足度調査 生徒の満足度 8 0 % 以上 	(年度末及び適宜記載)	◎
キャリア教育の充実と進路実現	<p>2 年生のインターンシップの実施</p> <p>【活動指標】・ 参加生徒の割合 2 0 % 以上</p> <p>【成果指標】・ 参加生徒の満足度 9 0 % 以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の満足度 7 0 % 以上 <p>進路ガイダンス、個別面談の実施</p> <p>【活動指標】・ 1, 2 年生は年間 3 回以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年生は年間 5 回以上 <p>【成果指標】・ 希望進路実現 1 0 0 %</p>		
体育科の活性化	<p>体育科生徒による、市内小中学生を対象に指導実習</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校訪問 5 校以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生及び体育科生徒の満足度 8 5 % 以上 		
資格取得の促進	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報コース生徒の商業・情報関係資格取得者の増加 ・ 全商検定 1 級資格取得者の増加 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 珠算電卓、ビジネス文書処理、情報処理合格 5 名 		

基本的な生活習慣や規範意識の醸成	全校集会、学年集会での訓話や全教職員による指導の徹底 【活動指標】・各学期2回の全体指導、頭髪服装指導 【成果指標】・学校遅刻、授業遅刻の昨年度10%減少 ・指導件数の昨年度10%減少		※
人権意識の育成	人権を尊重する意欲・態度と正しい道徳観の育成 【活動指標】 ・各学期1回の講演及びLHRでのソーシャルスキルトレーニング(SST)の実施 ・人権デーの実施 ・命を大切に教育の講演実施		
部活動の活性化	運動部、文化部活動の奨励 【成果指標】 ・県総体総合20位以内 ・全国、東海大会出場者増加、県内大会入賞者増加		※
改善課題			
(年度末及び適宜記載)			

(2) 学校運営等

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学校の魅力化	体育科、普通科類型、情報コース類型の特色あるカリキュラムの検討 【活動指標】 ・各学科、コースの学習内容の充実に向けた工夫、改善 ・関係機関、団体との連携調整	(年度末及び適宜記載)	◎
授業力の向上及び資質向上	授業公開による授業改善、校内研修の実施 【活動指標】 ・授業公開、教員相互の授業見学を年間2回実施 【成果指標】 ・授業満足度80%以上		※
情報発信による地域、保護者との連携促進	学校ホームページやフェイスブック、きずなネットの活用による情報発信、地域活動との連携 【活動指標】 ・校内外の活動を随時、迅速に発信 ・地域活動に参加、協力 【成果指標】 ・ホームページ更新 月1回		

<p>教職員の満足度の向上</p>	<p>総勤務時間の縮減及び各種会議の効率化</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回の定時退校日、週 1 日の部活動休業日を設定 ・ 各種会議時間を 60 分以内に短縮 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員年間休暇取得日数を昨年度比年平均 1 日以上増加（メモリアル休暇の取得） ・ 時間外勤務時間の削減 昨年比 15%減 （一人当たり月平均時間外労働 4 時間削減） ・ 月 80 時間超人数の削減 のべ 3 人減 （平成 29 年度 11 名） 		<p>※</p>
改善課題			
（年度末及び適宜記載）			